

穴塚大池

(ししつかおおいけ)



豊かな自然に囲まれた穴塚大池



岸辺の桜

手作りの案内板



ため池の概要

ため池の所在地

茨城県土浦市

ため池の特徴

穴塚大池は、ため池と林が一体になり、田畑と共に農家の生活を支える里山文化が長い間保たれてきた地域に囲まれており、約100haの緑地が広がる豊かな自然の中で美しい景観を呈しています。

周辺に残されている雑木林や湿地などの多様な自然は、レッドデータブック掲載の動植物を含む多種多様な生物の生息場所であり、マガモ・コガモなどの越冬場所ともなっています。

大池は、江戸時代以前に流入河川のない台地上に築造され、今も天水のみに水源を頼っているため池で、下流の谷津田や台地下に広がる水田地帯40haを潤す貴重な水源として、重要な役割を担っています。

また、池のまわりには、小高く作られた昔の墓があちこちにみられ、穴塚古墳群と呼ばれています。旧石器時代後期からの遺跡が十数ヶ所あり、中でも国指定史跡の「上高津貝塚」は有名です。

NPO法人を中心に、地元の人々も参画して行われているため池や周辺の里山保全活動が盛んで、地元小学校などの環境学習の場としても活用されています。

関連情報

地元NPO団体ホームページ

<http://www.kasumigaura.net/ooike/>